

文化振興ビジョン策定のための市民会議 意見概要

- 1 日 時 第1回：平成27年10月16日
第2回：平成28年 2月 1日

2 意見の概要

項 目	意 見 等
文化振興ビジョンについて	<p>地方創生に関する総合戦略計画に関連するのであれば、徳島市らしきを出すべきである。</p> <p>文化を個人の趣味として楽しむだけの時代ではない。法律にも、文化の効用として「活力ある社会の実現に寄与する」ことが記載されている。</p> <p>徳島県の県都であり、文化の中心地としての役割や位置づけを視野に入れる必要がある。</p> <p>文化について、市民の声を聞き、具体的なデータを集めてほしい。</p>
ビジョンの期間等について	<p>「10年後に徳島市はどうありたいか」という目標があり、達成するために10年間で何をすれば良いかを考えなければならない。</p>
徳島市の文化芸術の範囲等について	<p>徳島ならではの文化としては、阿波おどり、人形浄瑠璃、藍染め、お遍路がある。</p> <p>最近では「マチ★アソビ」や「徳島LEDアートフェスティバル」などのメディア芸術の分野で注目されている。</p> <p>徳島市らしいまちの風情を感じてもらうには、産業文化や街並みも文化に含めてほしい。</p> <p>とくしま市民遺産もビジョンの中で位置づけてはどうか。市民がやっていることも文化に入ると思えるようにしてほしい。</p>
徳島市の文化芸術の現状と課題について	<p>市の文化に関して情報を発信し続けることが大切である。また、情報を発信するとともに活用していくことも必要である。</p> <p>地元に対する評価が低く、地域資源に対する認識が少ない。特に若年層の地域に対する認識を広めていくことが大切である。</p> <p>徳島に様々な文化があるが、学校等で文化に触れる機会が少ないと感じる。</p> <p>観光、交流、集客という面で、様々な文化資源が注目されている。</p> <p>地域コミュニティとしての文化と、文化芸術を活用した経済的な効果の2本立てで考えていく必要がある。</p> <p>市民と県外客をつなぎ、また、伝統文化と新しい文化をつなげるため、市民の理解を深めることも大切である。</p>